GLOBAL INFO

TIA発！ 国際ボランティア情報誌
2011.8.1（季刊） ISSN 0915-1710
NO. 18

「東日本大震災における外国人支援」について

未曾有の被害をもたらした東日本大震災における外国人支援について、ＴＩＡでは、義援金の募集や地震・原発事故に関連する情報の翻訳ボランティア活動の支援を行いました。ＴＩＡが行った「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」（以下、センター）への協力について、ご報告します。

地震発生直後より、全国の多文化共生マネージャー（以下、タブマネ）[*1]のメーリングリストで情報・意見交換が行われ、各地域で敏速な対応、支援が始まりました。地震発生当日の夕方にはセンターの設立が決定し、外国人支援が公式にスタート。（図表1）ＴＩＡでは、センターが発信する外国人被災者への情報の翻訳協力を、センター設立当初から行いました。地震発生当日から翻訳ボランティアを募集したところ、多くの英語翻訳者から連絡があったため、ＴＩＡはセンターが発信する情報の英語翻訳を担当することになりました。（図表2）ホームページなどで行ったボランティア募集では、日本国内のみならず海外から連絡がありました。その数は、総勢120人を超え、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ハングル、タイ語、フランス語、イタリア語、ドイツ語など、まさに多言語にわたり翻訳ボランティアが名乗り出てくれたため、募集から数日で受付を締め切ったほどでした。世界中の皆さんの温かい気持ちを実感した瞬間でした。

地震直後は、数時間での翻訳対応も行いましたが、まもなく翻訳体制が整い、夕方に依頼を受け、翌朝に翻訳をセンターへ返送することになりました。ＴＩＡで行った翻訳は、タイ語５件、中国語19件、英語130件でした。翻訳された情報はセンターを通じ被災地に発信されました。（図表3）

翻訳を見て、安心したり、励まされたりした外国人被災者が多くいたそうです。仕事や学業で疲れているにもかかわらず、翻訳をしてくれたボランティアの皆様、本当にありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。また、なかなか連絡がとれず、翻訳依頼ができなかった方々、英語翻訳が中心であったために依頼ができなかった他言語のボランティアの皆様、せっかくの熱いお気持ちを生かすことができず、申し訳ありませんでした。しかしながら、皆様の温かい心はいつも励みになりました。ありがとうございました。

（構成／塚本江美）

[*1]多文化共生マネージャーは滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所（ＪＩＡＭ）が行っている２週間の養成講座を修了した自治体職員や国際交流協会、ＮＰＯのスタッフ。センター設立主体となったＮＰＯ法人多文化共生マネージャー全国協議会はタブマネで構成される。
ウェブサイト：http://tabumane.jimdo.com/

図表1　「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」設立～初動

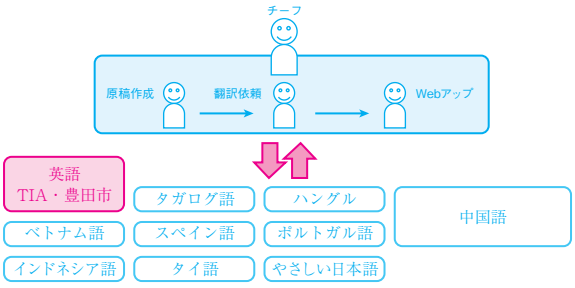
3月11日

14:46　三陸沖で巨大地震発生
※Mw.9.0、震度7（宮城県北部）を観測
「東北地方太平洋地震」と命名（のちに「東日本大震災」となる）

18:00～　JIAMにNPOタブマネ理事・監事参集
「多言語支援センター」設立を決定
当面の活動内容検討→情報提供・相談対応に決定→協力者依頼開始

東北地方太平洋沖地震多言語支援センター
設置主体:NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会
設置場所:全国市町村国際文化研修所内（大津市）
特別協力:㈶全国市町村国際文化研修財団、㈶自治体国際化協会
事業内容:多言語情報提供、多言語ホットライン、被災地スタッフ派遣

図表2　センターが行った多言語情報提供の流れ



図表3　センターが行った多言語情報提供の実績

カテゴリ	3/12～3/18	3/19～3/25	3/26～4/1	4/2～4/8	4/9～4/15	4/16～4/22	4/23～4/28	計
緊急情報	3	0	0	0	1	1	0	5
大切なお知らせ	13	10	9	8	5	3	7	55
放射能	8	6	0	0	1	2	2	19
医療／健康	7	2	3	3	1	1	1	18
安否情報	0	1	1	0	0	0	0	2
入管	4	2	5	1	1	0	0	13
ライフライン	3	2	1	0	1	0	0	7
交通	4	1	1	0	0	0	0	6
住宅	5	2	2	0	1	2	0	12
補償金	0	2	1	1	3	6	1	14
計	47	28	23	13	14	15	11	151

※第137報までの集計。複数のカテゴリに分類されているものが計14報。

（図表1～3作成／NPO法人多文化共生リソースセンター東海　土井佳彦）

TIA主催事業

●今年も「国際の日」イベントを開催します!

申込み・問合せ）参加無料、どなたでも参加できます。
①定員200人、②定員50人は9月6日（火）からTIAにて受付。
※関連事業の詳細はTIAのウェブサイト（http://www.tia.toyota.aichi.jp/）でご覧いただくか、TIAへお問合せください。内容は変更する可能性があります。

①「国際の日」多文化共生推進講演会

日　時）10月1日（土）13:30〜15:30
場　所）とよたグローバルスクエア（TIA）
内　容）イギリスの研究者によるイギリスの多文化主義についての講演
※講演は英語で行われ、英語⇔日本語の逐次通訳があります。
講演者）ハリス・バイダー教授（コベントリー大学）、クシュミンダ・チャハル氏

②草の根座談会・交流会

日　時）10月1日（土）18:00〜20:00
場　所）保見第2集会所（UR都市機構保見団地141棟）
内　容）バイダー教授、チャハル氏との座談会、交流会

ハリス・バイダー教授

③とよたグローバルプラザ

日　時）10月2日（日）11:00〜15:00
場　所）シティプラザ（名鉄豊田市駅西側、t-Face前広場）
※雨天時はとよたグローバルスクエア（TIA）での開催を予定しています。前日（10月1日）に判断し、ホームページなどで開催場所を公告します。
内　容）多文化ステージと屋台、「私の国際」フォトコンテスト表彰式

写真は昨年のステージの様子

④「私の国際」フォトコンテスト　作品展示

「これぞ、国際!」というテーマで行われる（8月12日必着）、国籍豊かな若者たちの写真コンテストの作品を紹介します。ぜひご覧ください!
・10月2日、③の「とよたグローバルプラザ」開催中に作品を展示します。
・10月4日（火）午後から10月14日（金）夕方まで市役所南庁舎1Fロビーにて作品を展示します。

日本語教室　お知り合いの外国人住民の方にお知らせ下さい!

●TIA日本語講座

内　容）有資格者による日本語指導（開催中で申込み不可）
次期日程）10月15日〜3月17日 毎週土曜日 午前9時半〜12時
受講料）10,000円／期（テキスト代別）
レベル）入門〜初級
定　員）各クラス20人程度
申込み）9月24日（土）午前10時より

●日本語サロン

内　容）TIAボランティアグループによる受講者のレベルに応じた授業（開催中）
申込み）電話で参加の可否をまずお尋ねください。
受講料）1,000円／期　　レベル）入門〜上級クラス
その他）小さい子どもさんと一緒でも可
次期日程）10月12日〜3月14日　毎週水曜日　午前10時〜12時
次回申込み）10月12日（水）午前10時よりTIAにて

●Alpha日本語教室

内　容）TIAボランティアグループによる受講者のレベルに応じた授業
※現在は10月9日まで休講しています。
次期日程）2012年1月〜4月 毎週日曜日 午前10時半〜12時半
受講料）1,500円／期（テキスト代別）
レベル）入門〜上級クラス

●日本語教室はじめのいっぽ

内　容）TIAボランティアグループによる授業（開催中）
日　時）4月3日〜9月25日　毎週日曜日　午後3時〜5時
次期日程）2011年10月2日〜2012年3月25日
受講料）1,000円／期
レベル）入門〜初級レベル
その他）日本語を教えるボランティア募集中！経験は問いません。
申込み）TIA窓口にて

●やっぱり！日本語講座

内　容）日本での日常生活や就職活動に役立つ簡単な日本語（開催中）
日　時）7月5日〜9月23日（各クラス全11回）
昼間クラス　午後1時半〜3時半
夜間クラス　午後6時半〜8時半
（入門クラス／金曜日
初級クラス／木曜日
中級クラス／火曜日）
受講料）無料（テキスト代別、2,500円程度）
申込み）TIA窓口にて（電話で受講の可否をまずご確認ください）

ナショナルデー

日曜日　自国の文化を紹介、各国の方と交流するナショナルデーを開催しています。自国をご紹介していただける方も募集中です！

時　間）午後2時〜3時　　参加費）無料
今後の予定）8月7日：ハンガリー、8月28日：スイス

賛助会員制度のご案内

★年会費

個人会員:一口1,000円（一口以上）
法人・団体会員（団体・企業・機関など）:一口10,000円（一口以上）

★入会方法

①会費の納入、②申込み、を併せて行っていただき、入会となります。

①会費の納入
下記口座に会費をお振込みいただくか、TIA窓口にて直接お支払いください。なお、TIAパンフレットに豊田信用金庫店舗窓口で振込手数料が無料で会費を納められる専用振込用紙がはさんであります。ご利用ください。

振込先口座
豊田信用金庫　本店営業部　普通口座　9062652
公益財団法人豊田市国際交流協会　理事長　豊田彬子
（ｺｳｴｷｻﾞｲﾀﾞﾝﾎｳｼﾞﾝﾄﾖﾀｼｺｸｻｲｺｳﾘｭｳｷｮｳｶｲ ﾘｼﾞﾁｮｳ ﾄﾖﾀﾞｱｷｺ）

②申込み
TIAパンフレットに入会申込はがきが入っていますので、必要事項をご記入の上、ご投函ください。お手元にパンフレットがない場合はTIA事務局までお問い合わせください。

●賛助いただき、ありがとうございました！（法人・団体会員のみ　受付順6月末時点）

オイスカ豊田推進協議会、豊田西加茂薬剤師会、連合愛知豊田地域協議会、豊田市鉄工団地協同組合、JAあいち豊田、豊田地区日韓親善協会

お知らせ

●ボランティア登録の更新についてお願い

2011年度のボランティア登録の更新を受け付けています。ボランティア登録用紙に必要事項をご記入の上、年間登録料500円を添えてＴＩＡ窓口までお越しください。ＴＩＡでのボランティア活動にはボランティア登録が必要です。

地域から世界へ～今年も小学校での取組みが始まっています

ガーナの遊びを体験
（名古屋大学大学院EIUP）

日本のことよく知っているかな？
（愛知淑徳大学）

カンボジアのみんなが喜んでくれるといいな（名古屋外国語大学・幼い難民を考える会あいち）

(1)小学生国際理解教育事業

この事業は2008年度に始まり、将来の豊田市の国際化を担う人材の育成を目的に4年生以上の小学生に国際理解教育の授業を行っています。講師は近隣大学の学生をはじめとする市民に依頼し、年齢の近い学生講師と接することで子どもたちにとってより国際が身近に感じられるような場づくりを目指しています。

新学期が落ち着いた6月、3校200人を超える子どもたちがとよたグローバルスクエアを訪れ、授業に参加しました。ガーナやミャンマーの留学生が講師となり、出身国の生活習慣や遊びを紹介する名古屋大学EIUP、自分たちの住む国「日本」について振り返り、理解を深めることをねらいとした愛知淑徳大学、おもちゃの不足しているカンボジアの子どもたちに布製のボールや人形のパーツを切って送るワークショップを通じ、自分たちができる国際協力を体験する名古屋外国語大学・幼い難民を考える会あいち。どの大学も特色ある多彩なプログラムを通じ、子どもたちの学びを深め、彼らの世界を広げてくれています。今年度の新たな取組みとして、距離的な問題から参加の難しかった旧町村地区の小学校に対し、講師団体が出向いて授業も行っていきます。

(2)小学校で英語学習のお手伝い！ 子ども英語交流補助ボランティアの派遣

今年から小学校5,6年生の外国語活動が必修となり、学校現場では先生方が奮闘しています。TIAでは2009年度から豊田市教育委員会と協力し、活動をサポートする市民ボランティアを学校へ派遣しています。

取材にお邪魔した豊田市立古瀬間小学校は数年前より外国語活動に取り組んできた学校です。6年生クラスのボランティアは大塚英里さんと西山千鶴さん。この日は「週末何をしていたか」を英語でコミュニケーションがとれるよう、会話や発音練習、ゲームを取り入れた授業が行われていました。「ボランティアの存在はとても大きく、英語の苦手な自分でも1時間の授業ができます。子どもの発音チェックや困っている子どもに寄り添うなど、担任一人では難しい対応をきめ細かくフォローしてもらっています」と6年生担任の近藤恵津子先生。「一人でも多くの子に“英語って楽しい!”と思ってもらえるお手伝いができれば。活動を通して子どもたちから発見することも多く、とても良い経験となっています」と二人からは心強いコメントをもらいました。市内では彼女たちのようなボランティアがALTや担任の間の橋渡し役として日々活躍しています。

授業前～担任の先生との入念な打合せ

ボランティアの大塚さん（左）と
西山さん（右）

ゲームでも二人は盛り上げ役

豊田市には海外への留学や駐在経験を持つ市民が多く、彼らは頼もしいサポーターです。これからもTIAは地域の皆さんとともに子どもたちの育成と国際化のまちづくりに取り組んでいきます。

（構成／白井彩絵）

交流館講座「日本語教室応援ボランティア講座」

―市民向け日本語ボランティア育成の取組み―

とよた日本語学習支援システムでは保見交流館と共働で、日本語教室で活動するボランティア育成を目的とした「日本語教室応援ボランティア講座」（5月15日日曜日開講・全4回）を開催しました。保見地区での開催ということもあり、参加者の関心は高く周辺住民を中心に多くの参加（計18人）がありました。1回目から3回目はワークショップを中心にボランティアとして外国人と接する心構えやクラスの進め方などを紹介し、4回目には実際に外国人との対話活動を経験してもらいました。参加者からは「実践と知識が網羅されていてわかりやすかった」などの意見をもらいました。今秋、さらに一般向けの講座を開講の予定です。募集記事は広報とよたに掲載しますので、受講希望の方はふるってご応募ください。

（構成／名古屋大学とよた日本語学習支援システム　北村祐人）

エスニック探検隊

農業生産法人 株式会社中甲（なかこう）

豊田市前林町住吉13-2
☎0565-53-0569

株式会社中甲は今から35年以上も前に設立され、高岡地区の水田農業の担い手として発展してきた。これは市内自動車産業の成長と深い関係がある。この間、農家の子弟は農業外産業への就業機会に恵まれ、後継者が不足することになり、自らの水田を管理しきれなくなった。中甲はそれらの農地を受託営農することで利益を得ているのだが、結果高岡地区の農地面積の5割強（344ha:ナゴヤドームフィールド面積の257倍に相当!）が集積した。

中甲にはベトナムからの実習生が3人いる。水田で働いている人が外国人だということに驚かれるかもしれないが、中甲と外国人実習生（以前は研修生・実習生制度）の歴史は古く、1994年から中国人の受入れが始まった。代表取締役社長の杉浦俊雄氏から話を聞いた。「最近でも毎年平均10haほどの受託農地が増えてきている。ここ数年で若い人たちが就職してくれたが、それでも手が足りない。」「経営の多角化という意味で畑作も始めているが、機械で作業できないことも多く、人の手による作業が避けられない。」「そういったところを外国人実習生がカバーしてくれている。彼らも日本農業の良いところをどんどん学んでいってほしい。」農作物の貿易自由化の波にさらされるなか、社長としては常に経営効率を考えねばならないが、外国人実習生制度を双方にとってプラスになるよう取り込んだ形だ。

社長の杉浦氏「最近は事務の仕事や視察などの対応が多いです。機械に乗れなくて少し寂しい…」

ベトナム人実習生が来日したのは今年1月、チェさん（26）は温暖なベトナムから突然寒い日本に来て、生まれて初めて“しもやけ”を患った。クーさん（27）は妻と子ども二人を残しての来日。1週間に2回ほど国際電話で家族と話をするのが楽しみだという。指導役である中野さん（33）は「皆農家出身ということもあり、全てを教えなくても作業の手順が分かっている様子で、感心しています。日本語もこれからもっと上手になるだろうから、一緒に仕事をしていてもストレスは感じませんね。」と言う。

現場の作業を見学させてもらうため、向かったのは水田の法（のり）（傾斜面）。腰ぐらいまでの草が生い茂り、草いきれが立つ。実は水田管理で一番の重労働はこの草刈りだ。乗用機械で刈れる範囲は限られているので、残りは個人作業となる。梅雨の晴れ間の炎天下、けがや熱射病を防ぐため、長袖シャツやタオル、帽子で重装備した彼らが手分けして法に分け入っていく。刈払機を軽々と扱っているように見えるが、生長した草むらはかなりの重みになり、扱いにはコツが必要だ。また、斜面での作業で足場も悪い。

作業が進む中、中野さんとエムさん（24）がお互い近くなった。その時、二人の間でアイコンタクトが交わされ、エムさんの作業が一時停止し、中野さんが安全な所に動くまで待った。作業に集中しすぎていると刈払機でお互いを傷つける重大事故が起こることがあるが、刈払機の爆音の中、アイコンタクトでそれぞれの安全を確認する様子を見て、お互いの信頼関係がしっかり構築されている様子がうかがえた。

1度刈っても数週間もたてば、雑草が育ってしまう

中甲では有機栽培や減農薬・減化学肥料栽培などの新しい技術導入にも取り組み、環境負荷を減らす試みをしている。農産物の貿易自由化に対抗する経営効率化の努力、外国人実習生との協働、地域環境への負担を軽減する農法の試みなどの取組みはまさにThink Globally, Act Locally. 日本農業の展望はこれからも決して楽観できないが、彼らの掲げる「農力人（のうりょくびと）」たちの“国際的”奮闘をこれからも応援したい。（構成／佐藤健）

左からエムさん、クーさん、中野さん、チェさん

※中甲ではお米の直売もしています。また、ブログでは作業の様子など紹介しています。
ウェブサイト http://shokunoansin.com/nakakou/
ブログ http://nakakoublog.blogspot.com/
中甲生産米直売フリーダイヤル
0120−601−415（月曜〜金曜、8時〜17時）

豊田市外国人登録者数の状況

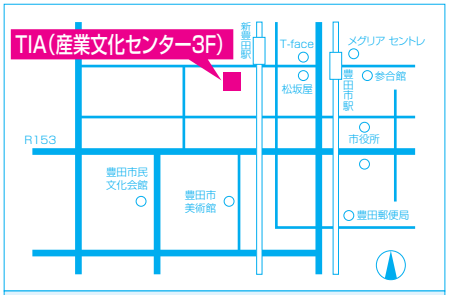
国籍	人数	割合(%)
ブラジル	6,183	43.7
中国	2,900	20.5
韓国又は朝鮮	1,427	10.1
フィリピン	1,279	9.0
ペルー	702	5.0
タイ	341	2.4
ベトナム	249	1.8
インドネシア	238	1.7
その他(68カ国)	828	5.9
総数(76カ国)	14,147	100

豊田市総人口	423,343
外国人登録者数の割合(%)	3.34

2011年7月1日現在豊田市調べ

編集後記

この夏、到る所に節電の声あり。震災前から続く長い不況の中、節電に頓着しない人がそんなに大勢いたとも思えませんが。とまれ、「ブーム」で終わらせることなく、「もったいない」精神を忘れずに、自然体で節電を心がけていきたいものです。（TA）



2011年8月1日発行(3,000部季刊)
編集・発行 公益財団法人豊田市国際交流協会(TIA)
〒471−0034 豊田市小坂本町1−25 豊田産業文化センター3F
TEL(0565)33−5931 FAX(0565)33−5950
E-mail:tia@hm.aitai.ne.jp〈月曜休館〉
〔ホームページ〕 http://www.tia.toyota.aichi.jp/